（北アルプス地域）

令和７年度　地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	学校と地域が連携した SDGs 事業－ユニバーサルツーリズムを通じた「持続可能な環境防災まちづくり」の提案－
事業主体 （連絡先）	白馬村（教育委員会事務局　生涯学習スポーツ課） 0261-85-0726
事業区分	(3)教育、文化の振興
事業タイプ	ソフト
総事業費	1,500,000 円（うち支援金：1,200,000 円）

事 業 内 容

１．学校での学び
　白馬村立白馬中学校の生徒を対象に避難所宿泊体験学習やフィールドワーク等の学習支援を行った。
２．地域での学び
　白馬村公民館講座と連携したガイドツアーを実施し、中学生の学習との連携も行った。
３．展示会開催・リーフレットの作成
　上記の活動成果について、展示会の開催やオンライン特設サイトの構築を通じて広く発信し、住民の環境・防災意識向上に努めた。



【学校での学び】

事 業 効 果

１．学校での学び
　避難所宿泊体験学習やフィールドワークを通して生徒の主体的な学びや対応力がみられる有意義な活動となった。
２．地域での学び
　人材を育成し、知識の幅を広げることで学びの仕組み構築につなげることができた。
３．展示会開催・リーフレットの作成
　広く情報を発信し、住民やインバウンドを含めた来訪者の環境・防災意識向上に寄与することができた。

【目標・ねらい】

環境防災マインドを持った多様な村民育成とマップの作成･活用を通じたユニバーサルツーリズムの構築

※自己評価【　A　】

【理由】
予定していた事業を実施し、成果をツーリズムマップにまとめ、広く情報発信できたことで住民や来訪者等の環境・防災意識向上に寄与することができた。

今後の取り組み

学校での学び、地域での学びを継続して展開しつつ、内容について下記のように深化させる。
・ガイドや在住外国人の支援も受けて村民や外国人旅行者等多様な人々が資源の意味を理解し楽しみながら現地を巡ることができる、マップを活用した環境・防災学習に資するツーリズムを提案する。
・活動内容とリンクした看板を村内に設置し、これら文化資源を地域の魅力として位置付け、誰もが楽しめる（ユニバーサルな）環境防災ツーリズムとしてアピールする。